## 労働力確保を要望

# 農業法人とJA種子屋久との

語る会

代表者やJ **2**月 種子! 14 日 屋久との語る会」を開き、 Aの役職員、 中種子町の いちに会館で 県連職員ら30 農業法人の 人が出席 「農業法

JAでは組合 時年に引き結 を納芋、さと を納芋、さと 年に引き続き、 農家経営支 Aでは組合員 さとうきびに取り の取り組み内容の説明と意見和2年度の各種事業(金融・とうきびに取り組む13法人。 0) センター 開催。 声を聴く運 出 席 した農業法人は 説明と意見交換を行 動 を強化したのな を 共済 • て おり、 A と 県 に、 和牛、 当

と農業法人とが協力して地域農業を守ってまた、今後の農業基盤を維持するためになどの声がありました。要望としては、大型農家に対する大口は要望としては、大型農家に対する大口は、 対策 0) A 強

管内

生産者だけ

を対

象とし

0 0

払下げ

は、

A

た取り 県内で2J

どらのの もあり、 らの労働者の雇用体、季節的な他県や外国人労働者の 要望 が 新規就農者 あ ń 用な 県の か確

一要があるとの意

て

み

農業法人とJA種子屋久との記

展の 開に

かしてい

後 後 A の は

事今

業回

## 育成牛払い下 A 種子屋

●参加し、11頭の取引を行いる産農家や畜産関係者がのである。 となりました。 1 路は、 3 種子屋. 万3千円 せり 良 万4千円 市 な繁殖雌牛を積 *i* 14 久管内の 1, 下げ 安 結果 を開 1 0 1 頭あたりで 前 1 和牛繁殖 千円 回比27万円 最高 4極回 が数多く 1 価 ました。 に導 格は、前回 実施。 0) 生 平

## 『育てよう笑顔』 プロジェクト 令和元年度

[2月8~9日] 今年も地域の方々を笑顔にする トを実施しました。 管内各地区の道路や公共施設の清掃を行いました。 地域に根差した農業協同組合とし







